

山村の再生に向けて

— 環境・教育・健康に着目して21世紀を支える山村づくり —

(山村再生に関する研究会(中間取りまとめ概要))

山村には、新たなエネルギー、マテリアル等の供給や新たなライフスタイルに応じた活動の場の提供など、21世紀を支える大きな可能性
本研究会においては、森林の整備と林業の再生を前提として、こうした可能性を最大限に発揮させる方策を提示

山村は国民共通の財産であり、21世紀を支える大きな可能性

食料や水、木材・エネルギー等の供給や二酸化炭素の吸収機能などを担う山村は、国の安全保障の観点からも、国民共通の財産として、国民経済のなかに戦略的に位置づけられるべき

山村には、新たなエネルギー、マテリアル等の供給や新たなライフスタイルに応じた活動の場の提供など、21世紀を支える大きな可能性。森林の整備と林業の再生を前提として、こうした可能性を最大限に発揮させることが必要

山村再生の前提として森林の整備・保全と林業・木材産業の振興が不可欠

施業の集約化、高性能林業機械や作業路網の整備に加えて、林業の担い手を確保することが重要。また、森林の施業委託や所有森林の境界問題への対処が必要

山村における安全・安心の確保のため、山村の立地条件に即した適切な治山対策、鳥獣害対策の実施、間伐等実施後の林地残材の利活用等の推進が必要

環境、教育、健康に着目して山村再生に向けた取組を展開

我が国の経済社会の動向等を踏まえ、山村再生の分野として「環境（新素材・エネルギー）」、「教育」及び「健康」、その実現手法として「交流（新しい観光）」及び「景観・資源」が重要な要素

【取組の例】

環境（新素材・エネルギー）分野 林地残材等の効率的な集材システムの下に、木質由来の環境にやさしい新素材やエネルギーを地域で生産することにより、山村の未利用木質資源を有効に活用

教育分野 子ども、親、団塊の世代など幅広い世代を対象に、山村の森林資源や伝統・文化などを活用した多様な体験の機会を提供

健康分野 日常的心身の健康維持から、抑うつ症などの精神疾患の改善まで、森林を含む山村全体で多様な癒しの形を提供

これらの3分野への取組は、山村住民の就業機会の確保と定住促進のみならず、森林の整備と林業の再生にも大きく貢献

「山村再生ツール」の包括的なマネジメントが不可欠であり、総合的に支援するセンター機能が重要

（人材の育成確保（ひと））

山村再生ツールを包括的に管理し事業全体を進める「地域マネージャー」の外部からの起用と、活動の中心となる指導者である内部の「地域リーダー」の育成が重要

（地域資源の活用（もの））

山村が有する、森林などの自然資源や、伝統・文化・知恵など地域独特の有形・無形の貴重な資源を最大限に活用することが重要

（経済的な支援（かね））

山村再生プログラムへの参画による企業側メリットの提示などにより、企業からの経済的支援を積極的に受け付け、集中的に支援することが必要

（情報の活用）

山村の特徴・魅力の発信や、山村活性化事例の提供、活動への参加の呼びかけ、さらには山村再生手法の発信など、情報の活用が重要